

平成 26 年 度

事 業 計 画 書

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I	根岸競馬記念公苑における事業	1
1	馬の博物館の事業	1
(1)	馬に関する博物資料の収集、保管	1
(2)	馬に関する博物資料の展示	1
(3)	馬に関する博物資料の調査、研究	1
(4)	出版事業	2
(5)	博物館としてのその他の活動	2
(6)	研究交流・館外協力及び研修等	2
2	馬展示事業	3
(1)	馬の展示	3
(2)	展示馬を活用した活動	3
(3)	イベント（春・秋）の開催と外部協力	3
(4)	厩舎管理等	3
3	馬文化の保存	3
4	公苑の管理	3
II	J R A 競馬博物館における事業	4
(1)	競馬に関する博物資料の調査、収集、保管	4
(2)	競馬に関する博物資料の展示	4
(3)	館内の案内	4
(4)	移動展示及び他団体主催展示への協力	4
III	競馬振興会館（Gate J.）における事業	5
(1)	馬の文化及び競馬に関する各種情報の発信	5
(2)	競馬関連イベントの開催	5
(3)	馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	5
(4)	他団体主催イベントへの協力	5
IV	広 報	5
V	J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	6

平成 26 年度 事業計画

平成 26 年度においては、当公益財団法人定款第 4 条の目的を達成するため、根岸競馬記念公苑 馬の博物館をはじめとする各施設において効果的な展示、イベント等を行い、学術及び文化の発展に寄与します。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館の事業

(1) 馬に関する博物資料の収集、保管

馬に関する博物資料や情報の収集及びこれらの保管、保持に努めます。また、収集した博物資料については「博物資料管理システム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図ります。

なお、博物資料の保管にあたっては、文化財保護の基本的観点から、保存環境を整え、将来への継承に備えます。

(2) 馬に関する博物資料の展示

日本中央競馬会が創立 60 周年を迎えることにあわせ、馬文化と競馬文化に関する知識の普及の強化を図るため、これまでに蓄積した馬に関する博物資料を、最良の状態、さまざまに工夫をして展示して鑑賞に供します。

春季は特別展『JRA60 周年記念展 馬と歌舞伎（仮称）』を開催します。近世日本の生んだ舞台劇であり、庶民文化の華として人気の高い歌舞伎における、馬の表現を紹介し、舞台の上に再現されている「人馬が親しかった時代」を見直します。

秋季は企画展『JRA60 周年記念展 サラブレッド（仮称）』を開催します。その他にテーマ展示として、平成 26 年の午年にあわせた『初春吉例 馬の屏風（仮称）』を開催、さらに『馬のアート』『馬の伝統行事 関東編』『騎射』『馬具のふしぎ』（いずれも仮称）など、年間を通して歴史、民俗、美術、自然、競馬各分野のテーマを設けて展示を行います。

常設展示については、お客様が馬について理解を深めることができるよう、収蔵品を活用した効果的な展示を行います。

また、多くのお客様の多様な関心に応えるため、展示内容の理解の助けとなるような図録・リーフレットを作製します。

なお、展示内容を広く周知するため、展示内容について、報道機関等を活用して理解の促進を図ります。

(3) 馬に関する博物資料の調査、研究

馬の文化について、自然科学（進化・品種等）、人文・社会科学（歴

史、考古、民俗、美術工芸、馬術、競馬等)の各分野において、広く文献収集・聞取・実地調査にとりくみ、調査結果の分析・研究を行います。

(4) 出版事業

馬の文化についての理解を広めるため、印刷物を刊行・配布します。

- ① 特別展の展示内容を中心とした図録を作製します。
- ② 馬に関する博物資料の調査、研究その他の活動の成果は『馬の博物館研究紀要』あるいは小冊子等において発表します。
- ③ 刊行物は、全国主要博物館、美術館、図書館、大学、競馬関連機関等に配布します。

(5) 博物館としてのその他の活動

学校教育・生涯教育の分野での期待に応えるため、児童・生徒の遠足・団体見学等のさまざまな機会をとらえて馬についての知識と理解を広めるとともに、馬の文化についての自発的な学習を支援し、その普及の拠点となるように努めます。

- ① 特別展示などに即して各種講座・講演会を企画します。
- ② 児童・生徒に対し土曜日を無料入館日として来館を促進するとともに、学習素材の充実を図ります。
また、夏季休暇期間には相談コーナー、工作教室等を開設するなど教育活動を強化して実施します。
- ③ 学校教育活動の充実に資するため児童・生徒・学生の体験学習・生活学習の受け入れを行います。
- ④ 次世代の博物館を担う人材の育成のため、大学の学芸員課程の実習依頼に応じ、実習生を受け入れ、指導を行います。
- ⑤ 各地の博物館・美術館をはじめ、生涯学習機関や競馬関連機関等の要請に応じ、馬及び競馬の歴史等について講演等を行います。
- ⑥ 装蹄教育センター等の競馬関連機関、獣医学・動物看護関係等馬に関係する学校・団体の見学に際しては、展示解説・講義・質疑応答を実施し馬文化の普及教育を実施します。

(6) 研究交流・館外協力及び研修等

- ① 調査研究活動の成果発表により広く学術の発展に貢献するとともに、学会・研究プロジェクト等に参加し、研究交流を促進します。
- ② 他の博物館における馬の文化にかかわる展示・出版・映像等の企画に協力し、内容の向上に寄与することを目指します。
- ③ 博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、全国美術館会議、神奈川県博物館協会及び東海地区博物館連絡協議会の行う会

議、研究会、専門部会に参加するとともに、各地の博物館、教育機関と資料の相互活用及び情報交換を行います。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

馬という身近に接し見る機会が少なくなっている動物を博物館事業の一環として、繫養展示します。

その際、多品種の馬を繫養し、施設内での放牧や騎乗等の他、日常の飼養管理の様子を紹介します。

また、日本固有の馬である日本在来馬種の野間馬及び北海道和種の展示を行います。

(2) 展示馬を活用した活動

① 馬の博物館の入館者を対象とする体験乗馬及び馬車の試乗会を行います。

② 夏季休暇中小学校高学年を対象に、馬に関する基礎知識を学習する機会を設けます。

また、幼児から小学生を対象とした馬の写生会を行います。

③ 来苑者がにんじんを自ら与えながら馬に触れ、親しめる機会と癒しの場を提供します。

④ 広く学校教育機関と積極的に連携し、児童・生徒・学生の体験学習の受け入れ等を行います。

⑤ その他、随時希望者に対し馬に親しむ機会を設けます。

(3) イベント（春・秋）の開催と外部協力

① 馬をテーマとしたイベントとして、春季は『馬とあそぼうこどもの日』、秋季には『馬とのつどい 2014』を開催します。

② 日本中央競馬会をはじめ他団体が主催する馬文化の普及に関するイベント等に協力するため、小型展示馬の出張展示を行います。

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理及び事故防止に万全を期すとともに、厩舎内外の衛生管理並びにお客様への快適な展示環境の提供に努めます。

3 馬文化の保存

馬にちなんだ日本の伝統行事や祭事の保存・振興及び国内在来馬8種の保存を図るための事業を実施します。

4 公苑の管理

種々の草花や樹木の整備など自然環境保持に努め、近隣の児童・生徒等の教育や、自然を楽しむ人々の生涯学習の場として、また、来苑者の憩いの場としても広く利用される施設整備を図ります。

II J R A 競馬博物館における事業

(1) 競馬に関する博物資料の調査、収集、保管

競馬に関する国内外の博物資料を調査し、体系的に収集、保管に努めます。また、収集した博物資料については「博物資料管理システム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図ります。

(2) 競馬に関する博物資料の展示

秋季には、J R A が創立 60 周年の節目を迎えることを記念して、英国ニューマーケットのジョッキークラブが所蔵する 18 世紀の伝説の名馬や英国ダービー馬等を描いた美術作品を借用し、特別展『J R A 60 周年記念 英国ジョッキークラブ秘蔵絵画展』をテーマコーナーほか展示室で開催いたします。

ギャラリーでは、春季に G I 競走等で圧倒的な力を見せつけ、多くのファンの印象に残る馬たちを紹介する『伝説の圧勝劇～記憶に残る主役たち～（仮称）』を開催します。秋季は、テーマコーナー他で開催する特別展と連携し、所蔵資料を中心とした『英国ダービー版画展（仮称）』を開催します。

テーマコーナーでは、初春に前年を回顧する『2013 年度 J R A 賞展』を開催します。続いて、日本古来の伝統馬事芸能に着目し、『馬と伝統行事～全国の馬の祭り～（仮称）』を開催します。秋季には、特別展『英国ジョッキークラブ秘蔵絵画展』の主要作品の展示を行います。冬季には、馬や競馬の文化的側面に焦点を当て『馬と競馬の遊び道具（仮称）』と題し、競馬香や競馬双六に始まり、現代の競馬ゲーム等に繋がる“遊び道具”を紹介します。

エントランスホールでは、『2014 年度新人騎手紹介展』『第 81 回日本ダービー優勝馬展』『第 34 回ジャパンカップ優勝馬展』（いずれも仮称）を開催します。

この他、その時々のお話を集めた騎手や競走馬等に関する展示を随時行います。

また、展示の開催にあわせてお客様の展示の理解増進を図るため、適宜、配布用印刷物の作成やビデオ映像等を作製します。

(3) 館内の案内

お客様に競馬の魅力を感じていただけるように、展示物や競馬に関する知識等を習得したインストラクターを配置し、館内の案内や利用上の説明等に努めます。

なお、体験機器については、節電に努めながら安全かつ円滑な運用を図ります。

(4) 移動展示及び他団体主催展示への協力

要請に応じて、競馬関連機関等の競馬に関する移動展示に協力し

ます。

また、他の団体等が主催する競馬の健全な発展と馬の文化に関する知識の普及に資する展示等に協力します。

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）における事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示及び各種情報の発信

展示等を通じて馬の文化及び競馬に関する情報を発信し、関心の醸成と知識の普及を図ります。

(2) 馬事関連イベントの開催

社会的にも関心が高いと思われる競馬の開催週には、トークイベント等を開催し、レースの歴史的背景や、それにまつわる多種多様な情報を提供します。また、J R A 60 周年に伴う記念イベントを実施します。この他、日本在来馬を活用したイベントを実施し馬文化の普及啓発に努めます。

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

映像（グリーンチャンネル・馬の博物館及び J R A 競馬博物館所蔵の資料画像等）を放映することにより、馬の文化に関する知識の普及と競馬の健全な発展に努めます。

(4) 他団体主催イベントへの協力

J R A 60 周年に伴い日本中央競馬会が全国で実施するイベントに協力し、馬文化の普及啓発に努めます。

Ⅳ 広 報

馬の博物館と J R A 競馬博物館及び Gate J. の各種展示活動や行事内容を広く告知するため、各種配布物（ポスター・チラシ・パンフレット等）を活用し、近郊の公的機関・交通機関や競馬関連機関等と連携し、案内広報を行います。

また、ホームページや新聞、雑誌及び競馬場内のターフビジョン・場内 I T V 映像等、さまざまな媒体を利用し、お客様の増加のための広報活動を行います。

財団ホームページについては、両博物館及び Gate J. の展示やイベント情報等を速やかに更新し公開するとともに、より効率的に管理し、各施設の情報をタイムリーに発信します。

V J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

日本中央競馬会から業務委託を受け、J R A 賞馬事文化賞にかかわる情報の収集等を行います。